

共に闘う コロナ禍の市役所では

市保健所

新型コロナウイルス 感染症対応最前線



市保健所では、市内で発生した新型コロナウイルス感染症に最前線で対応しています。感染拡大に比例するように、電話対応や受診調整などに追われ職員の負担が増大しました。そこで市ではさまざまな部局から応援職員を参集するなど、全庁的な応援体制を整備してきました。これまでに、新型コロナウイルス感染症対策を担当する市保健所の体制を、第1波では32人から45人に、第2波では50人、さらに64人まで増員し、日々業務にあたっています。

市保健所の実施する新型コロナウイルス感染症対応業務

電話相談	市民からの新型コロナウイルス感染症に関する相談 感染の不安があるかた・体調不良のかたなどからの相談窓口で、緊急事態宣言中にはその件数は一日300人を超え、現在でも一日平均100件の相談が寄せられています。
受診調整	帰国者・接触者外来の受診調整など 相談を受けて受診できる医療機関をご案内します。受診の上、医師の判断により検査が実施されます。
検体搬送	検体の搬送 医療機関において採取された検体を保健所に搬送します。
PCR検査	PCR検査の実施 市保健所の検査施設において迅速にPCR検査を行います。
陽性者対応	発生届の受理、積極的疫学調査など 発生届をもとに陽性者へ連絡し、積極的疫学調査を行います。必要に応じて他の自治体などとの連絡調整を行います。
患者移送	陽性患者の移送 感染防止対策を施した移送車で安全に患者移送を行っています。
健康観察	自宅療養者、濃厚接触者などの健康観察 感染の拡大を最小限に抑えるためにも、自宅療養者や濃厚接触者の健康観察は大変重要で欠かせません。急な症状の変化にも対応できるよう体制を強化しています。



新型コロナウイルス感染症は発生の予測が難しく、感染はいつ急に拡大するかわからないため、長期的な計画を立てることが難しい点に苦慮しています。

現在でも応援職員を含め、絶えることなく業務を続けている状態であり、感染がさらに拡大して行けば、この先いつ逼迫するか予断を許さない状況です。そのため情報管理システムの導入や、業務の一部を委託するなど、職員の負担軽減を図っています。



現在、全国的に新規感染者が増加しており、川口市においても感染拡大傾向がみられています。保健所の職員と応援職員は一丸となって、高い志と強い使命感のもと、引き続き全力で取り組んでいきます。

市民の皆さんには、引き続き、うつらない、うつさないための基本ルールである、「**手洗いの徹底**」、「**マスクの着用**」、「**身体的距離の確保**」、「**密閉・密集・密接の回避**」など、常に感染防止を意識した行動の徹底をお願いします。

